平成24年度 第3回 全員協議会 4月25日(水)

統合文教施設整備についての説明

1、バスケットコートは公式寸法を確保できない。

2、LED証明器具は価格が高い為、新設施設の屋内外では予定しているが倉庫と機械室は除きたい。

3、小、中教室の冷房に水エネルギーを活用、暖房は温水循環させて冷房と兼用の送風機温風をし、保育室と遊戯室は床暖房する。尚ペレットストーブの導入は今回見合わせる。

問 **バスケットコートは公式コートを想定していたが、どうしてできないのか。**

答 バスケットコートは総事業費が決まっている中で難しく、現在考えていない。

（その後移動式ゴールをステージ下へ少し入れることで公式寸法を確保）

問 **LED照明は当たり前の時代、最初からそうするべきではないか。**

答 採用は考えていますが、どこまで使うかは検討中です。

問 **ペレットストーブの導入は何故できないのか。**

答 コスト面を考え、教室に冷暖房2台よりも1台の機械で対応していきたく見合わせた。

問 **内装には木材を利用すべき。**

答 内装の木質化は事業費の範囲内で、少しでも多くできるように検討したい。

光ケーブル（土樽、三国地区）導入について早期実現を目指すことになりました。

問 **三俣地区にも入るように検討してもらいたい。**

答 早く導入できるように務めていきます。

平成24年度 第4回 全員協議会 6月13日(水)

マグナとの姉妹都市提携について

問 **中学生交流以外の具体的計画はあるのか。**

答 来町される三氏の意向を伺って検討したいと思っています。

加山キャプテンコーストスキー場について

町有地の使用に関する合意書が3月31日で切れているが、別にリフト敷地等のみの土地賃貸借契約書が締結され、地元への貸付料も支払っている。

問 **スキー場として再開の見通しはあるのか。**

答 むずかしいと思う。

問 **リフトの撤去について課題は何か。**

答 抵当権が付いているので承諾がなければ壊せない。

神立高原スキー場について

中国信託商業銀行がスキー場施設を第三者に売る協議をし、成立しない場合は競売になるかという状況です。

問 **町は昨年神立高原スキー場と2年間の契約を結んだが、どうなっているのか。**

答 パインリッジの破産管財人と銀行がいくらで売るか話をしている。

問 **税金が取れないパターンが続いている、けじめを付けないといけないのではないか。**

答 5月28日の判決後、控訴がなければ破産管財人と銀行の話し合いで1～2か月後には方向が出ると思う。

その他

一、土樽、浅貝地域の光ファイバー整備について

整備に必要な仮予約が足りないので協力依頼

二、統合文教施設について

7月9日入札

バスケットコートは公式寸法を確保

三、議会のテレビ取材について

今回は制限したが、今後は基本的に全てオープンにする

四、津南町議会との交流について

秋になったら交流を深めたい